

学校評価へのご協力に感謝いたします

(1) 概要

①学校生活の楽しさ

教員、生徒、保護者とも楽しい学校生活を送っていることについては極めて肯定的に感じています。特に生徒は6割がとても楽しいと感じています。ただし、教員の評価がやや低いのは、設問にある生徒一人一人を考えると、とても全員が楽しいとは言い切れないということでありましょう。

②各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

生徒はおおむね良好な評価を与えています。保護者の評価も比較的高いのですが、教員の評価はやや低くなっています。特に各教科、道徳や総合的な学習についての評価が低い。さらに学習指導の改善や活動内容の充実を図っていく必要があります。新教育課程に基づいた指導の研究も必要です。今年の研修課題であった電子黒板や実物投影機などを使ったICT教育や学校図書館の活用もさらに考えていかなければなりません。

③生活指導・進路指導

生活指導で生徒はほぼ満足な結果が得られましたが、保護者評価はやや低い。進路指導は今まで以上に保護者との連携を密にした寄り添った指導、ていねいで分かりやすい説明を求められており、自己実現が出来る能力や態度の育成も課題です。

④特色ある教育活動

本校で行われている生徒の主体的な取り組みを促す学校行事や生徒会活動が、定着し、評価されています。さらに生徒の活躍の場を増やし、生徒の自律的な取り組みに結びつくよう指導していきます。朝読書や図書館利用の実態などを保護者に知ってもらう必要があります。

⑤家庭との連携

多くの保護者の理解と協力は得られていますが、地域との連携、協力の面でやや課題もあります。生徒や教職員の地域行事への参加をさらに進め、情報発信面で改善を図ります。

⑥施設・設備

給食調理室新設、トイレ改修の後、プールの改修をすすめ、老朽化対策や環境整備、校庭の改修、特別教室の空調機設置などを目指して充実を図っていきます。

(2) 根拠となる資料

A：十分（4点）、B：おおむね十分（3点）、C：やや不十分（2点）D：不十分（1点）

として点数化

①学校生活の楽しさ

	A	B	C	D	平均点
教員	19%	74%	4%	4%	3.1
生徒	60%	31%	6%	3%	3.5
保護者	35%	58%	5%	1%	3.3

多くの生徒、保護者とも貫井中での学校生活を楽しんでいると感じています。

特に生徒の三分の二近くが「とても思う」と答えています。それ自体は喜ばしいことですが、楽しくないと答えている生徒もいますので、教員はその全体を見てAの回答が少なくなったものと思われます。

②各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

ア 各教科

	A	B	C	D	平均点
教員	13%	62%	17%	4%	2.8
生徒	27%	48%	18%	3%	3.1
保護者	9%	66%	19%	2%	2.8

生徒自身は比較的高い評価をしていますが、学習意欲の向上や学習内容の定着に課題があります。少人数指導やチームティーチングなどの指導形態の工夫や授業研究によって指導法の改善や教材・教具の開発、言語活動の充実、ICT機器、電子黒板や実物投影機、学校図書館の活用を進める必要があります。

イ 道徳

	A	B	C	D	平均点
教員	4%	33%	44%	7%	2, 4
生徒	25%	57%	14%	3%	3, 0
保護者	11%	72%	14%	1%	2, 9

生徒は道徳の授業などで生命の大切さや思いやりの心が育っていると感じていますが、教員は日頃の生徒の様子を見てとてもそこまでは行ってないと感じているようです。自分の行動を省みて、よりよい自分を作る意識を持たせるよう道徳の時間を充実させ、道徳的心情から道徳的判断、道徳的实践に結びつくように、改善を図ります。

ウ 特別活動

	A	B	C	D	平均点
教員	28%	56%	13%	2%	3, 1
生徒	48%	37%	11%	4%	3, 4
保護者	31%	53%	11%	2%	3, 2

生徒主体の学校行事や生徒会活動に対しては、生徒、保護者、教員ともかなりの評価が見られ成果も上げています。部活動も肯定的に受け取られています。外部指導員の活用、活動内容の充実への努力を行います。

エ 総合的な学習の時間

	A	B	C	D	平均点
教員	10%	39%	35%	6%	2, 6
生徒	36%	45%	13%	3%	3, 2
保護者	11%	58%	23%	4%	2, 8

活動内容は定着してきており、成果は上がっているはずですが、教員の評価が低い。これは自分で考え解決しようとする態度がまだ十分ではないと感じられるということでしょう。各学年の取り組みを共有し、三年間を見通した指導をする必要があります。

保護者への周知、各学年の実践記録や資料の引継を確実に行うことが肝要です。来年も第二土曜の授業でも2時間ずつ行っていきます。

③ 生活指導・進路指導

ア 生活指導

	A	B	C	D	平均点
教員	19%	54%	20%	2%	3, 0
生徒	29%	44%	18%	7%	3, 0
保護者	10%	61%	22%	3%	2, 8

基本的な生活習慣、礼儀、言葉遣い、挨拶や規範意識は次第に定着が見られます。

不登校やいじめについて教員は、指導や対応を丁寧にやっているつもりですが、生徒や保護者はやや厳しい評価をしています。指導の継続と内容の充実を進めていきます

同様に悩み事や心配事が相談しやすいかも、教員が思っているほど生徒や保護者は良く思っていないかもしれません。より相談しやすい環境、雰囲気構築と特別な配慮を必要とする生徒への理解や対応は、教員の研修とスクールカウンセラー、心の相談員、学校生活支援員の活用を考えていかなければなりません。

イ 進路指導

	A	B	C	D	平均点
教員	17%	43%	26%	4%	2, 8
生徒	38%	44%	11%	4%	3, 2
保護者	6%	51%	32%	7%	2, 6

生徒の自己実現が図れる指導をめざしていますが、保護者との連携を密にした適切な進路指導や、自己実現が出来る能力や態度の育成にはまだ課題が残ります。より丁寧で親切な進路指導の充実や、保護者や生徒とのさらなる連携を図らなければなりません。

④ 特色ある教育活動

	A	B	C	D	平均点
教員	26%	48%	18%	2%	3,05
生徒	43%	34%	17%	4%	3,25
保護者	25%	43%	23%	4%	2,90

学校行事への取り組みや生徒会活動は積極的に行われていますし、自主的な態度が育ってきています。朝の読書や学校図書館の利用は、生徒は肯定的にとらえていますが、保護者評価はやや低い。読書習慣が家では見られないということでしょうか。学校での朝読書や図書館利用増加の実態を知ってもらう必要があります。また、保護者や地域との連携を図り、地域の人材活用を推し進め、生徒が地域の一員としての自覚を深めるような活動を取り入れていきたいし、生徒にそのことを促していきます。

⑤ 家庭との連携

	A	B	C	D	平均点
教員	13%	69%	5%	5%	3,0
生徒	29%	44%	17%	6%	3,0
保護者	10%	66%	14%	3%	2,9

学校の教育活動に関する理解と協力が得られつつあります。学校公開、道徳授業地区公開講座、セーフティ教室、情報モラル講習会、保護者会等で、地域や保護者により理解していただくような工夫も必要です。また生徒の地域行事への参加を進め、一層の連携を深めるため、学校だよりや学年だより、学級だより、ホームページの活用、教員の地域行事への参加などを図ります。

⑥ 施設・設備

	A	B	C	D	平均点
教員	19%	67%	11%	0%	3, 1
生徒	35%	47%	10%	5%	3, 1
保護者	13%	75%	6%	1%	3, 1

生徒側トイレの改修も終わり清潔で使いやすくなり、現在プールの補修をしています。校庭の改修や特別教室の空調機設置などを教育委員会に要望していますが、予算的に厳しく今後の課題です。